

1年 国語 週4時間 担当：別府 さやか（3時間）・小林 逸実（1時間）

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化を理解し、親しめるようにする。
- ・筋道を立てて考える力、豊かに感じ想像する力を養い、日常生活の中で伝え合う力を高める。
- ・言葉がもつ価値に気付くとともに言語文化を大切にし、思いや考えを伝え合う態度を養う。

2 年間学習計画と単元（題材）

| 学期          | 月        | 単元名                                     | 内 容  | 達成目標(ねらい)  |
|-------------|----------|---|--|--|
| 1<br>学<br>期 | 4        | 【漢字】<br>【書写】<br>【豊かに想像する】               | ○漢字(朝学習・年間)①<br>○校歌(詩・硬筆)<br>○朝のリレー(詩)<br>○竜(物語)   | [知]小学校の漢字を復習する。新出漢字を学ぶ。<br>[知]字形を整え、楷書で書く。<br>[思]詩の情景を想像して共有する。音読する。<br>[思]展開や描写に注意して読み、登場人物の心情変化を捉える。   |
|             | 5        | 【漢字テスト】<br>(通年↓)<br>【わかりやすく伝える】<br>【言語】 | ○漢字の字体・画数・筆順<br>○ペンギンの防寒着・クジラの飲み水(説明)<br>○レポート<br>○話し言葉と書き言葉   | [知]漢字、文字についての理解を深める。<br>[思]説明文を読み、基本的な構造を知る。<br>[思]筆者の工夫を考えながら読む。<br>[思]調べた情報を整理し、伝えたい内容を明確にする。<br>[思]レポートの構成を理解し、図表を効果的に用いる。<br>[知]話し言葉と書き言葉について理解を深め、使い分ける。  |
|             | 6<br>7   | 【ものの見方・感性を養う】<br><br>【漢字】               | ○言葉の単位・文節の関係<br>○空中ブランコ乗りのキキ(物語)<br>○字のない葉書(随筆)<br>○漢字(朝学習)②<br>○部首と成り立ち<br>○随筆(創作)                                    | [知]ことばの単位、文節についての理解を深める。<br><br>[思]場面展開や登場人物の相互関係、心情の変化を読み取る。<br>[思]登場人物の判断や行動について、自分の考えをもつ。<br>[思]行動の描写をもとに、人物像や心情変化について読み取る。<br>[知]新出漢字を学ぶ。<br>[知]漢字の部首と意味の関係について理解する。<br>[思]日常生活の体験を題材に、表現したいことを明確にまとめる。  |
| 2<br>学<br>期 | 9        | 【漢字】<br>【論理的に考える】                       | ○漢字(朝学習)③<br>○玄関扉(説明)<br>○接続する語句・指示する語句<br>○スピーチ   | [知]新出漢字を学ぶ。<br>[思]文章の要旨を捉え、筆者の考えに対して自分の考えをもつ。<br>[知]接続する語句・指示する語句について理解を深める。<br><br>[思]日常生活から話題を選び、考えが明確になるよう構成を工夫して話す。  |
|             | 10       | 【漢字】<br>【古典に学ぶ】                         | ○漢字(朝学習)④<br>○月を思う心・竹取物語(古文)<br>○故事成語(漢文)<br>○漢字の音と訓   | [知]新出漢字を学ぶ。<br>[知]古文の仮名遣いやリズムに注意して音読する。<br>[思]描写を元に登場人物の相互関係や心情変化を捉える。<br>[知]訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。<br>[知]同音異字と同訓異字について理解する。   |
|             | 11<br>12 | 【情報を関係づける】<br><br>【書写】<br>【読みを深め合う】     | ○防災に関するデータ「みんなでいるから大丈夫」の怖さ(記録)<br>○行事案内リーフレット<br><br>○単語の類別・品詞(文法)<br>○楷書・行書(硬筆・毛筆)<br>○それだけでいい・詩の表現技法(詩・言語)<br>○詩(創作) | [思]原因と結果、意見と根拠などの関係に注意し、互いの発言関連づけながら話し合い、考えをまとめる。<br><br>[思]集めた材料を、目的や意図に応じて整理し、伝えたいことを明確にする。<br>[知]単語の類別・品詞について理解し、各品詞の特徴を捉える。<br><br>[知]字形を整え、文字の大きさ・配列等について楷書で書く。漢字の行書の基礎的な書き方を学び、身近な文字を行書で書く。<br>[思]詩の言葉を的確に捉え、内容を理解する。<br>[知]比喩、反復、倒置などの表現技法を理解して使う。<br>[思]日常生活から題材を決め、表現を工夫し、詩を創作する。 |
| 3<br>学<br>期 | 1        | 【漢字】<br>【視野を広げる】                        | ○漢字(朝学習)⑤<br>○トロッコ(小説)<br>○意味と意図   | [知]新出漢字を学ぶ。<br>[思]情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。<br>[思]必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。   |
|             | 2        | 【言語】<br>【振り返って見つめる】                     | ○方言と共通語<br>○意見文  | [知]共通語と方言の果たす役割について理解する。<br>[思]伝えたい内容が明確になるよう構成や根拠の明確さを意識して、読み手からの助言をふまえて書く。   |
|             | 3        |   | ○少年の日の思い出(小説)<br>○グループ新聞   | [思]登場人物の相互関係、心情変化について、描写をもとに捉える。<br><br>[思]編集会議を経て、読み手の立場に立って文章を整える。   |

### 3 評価方法

| 評価の観点         | 評価規準  | 評価方法                                   |
|---------------|---|--|
| 知識・技能         | <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の働きを客観的に捉え、理解できる。</li> <li>漢字・語彙・古典・文法・語句・書写についての理解を深め、知識を身に付け、活用できる。</li> </ul>                                 | 定期考査・朝学習漢字テスト・書写作品・暗唱テスト等              |
| 思考・判断・表現      | <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中から話題を定め、話すこと・聞くこと・話し合うこと・書くことができる。</li> <li>文章の要旨を把握することができる。</li> <li>場面展開や登場人物の心情の変化を捉えることができる。</li> </ul> | 定期考査・ワークシート作成した文章・レポート発言・スピーチ・聞き取りテスト等 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>目的意識をもって言語活動に積極的に参加できる。</li> <li>自己の学びを客観的に捉え、更に成長させていこうと工夫し、努めることができる。</li> </ul>                                 | 授業態度・自己評価・宿題・提出物・ワーク・発言等               |

### 4 授業の取組についてのアドバイス

- ・忘れものをしないようにし、授業前の休み時間に教材準備をする習慣をつけよう。
- ・自分の言葉で考えをまとめ、積極的に表現し、他者へ伝えよう。
- ・友達をはじめ、身の回りの人の言葉や価値観から学び、伝え合う姿勢を大切にしよう。
- ・自分の心情や価値観の変化に気付き、言語化できるようにしよう。
- ・朝学習に真剣に取り組もう。
- ・書き言葉と話し言葉をしっかりと区別し、丁寧かつ正確に文字や文章を書くことを心がけよう。

### 5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・授業で学んだことやポイントを自分の言葉で説明できるようにしよう。
- ・言葉に興味をもち、わからない言葉があったら、辞書を引く習慣を身に付けよう。
- ・わからないことはそのままにせず、遠慮せず先生に質問、相談して解決しよう。
- ・漢字練習を計画的に行い、習慣付けよう。
- ・単元が終了したら、必ずワークで復習しよう。

### 6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・学習計画をしっかりと立てよう。
- ・2回目以降のテストは、前回までのテスト問題を見直して自分なりに対策を立てよう。
- ・漢字は何回も書いて、正確に覚えよう（漢字ノートを利用する）。
- ・教科書を何度も読もう。
- ・ワークシートやノートを見直し、授業内容を理解しよう。

### 7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・友達や周りの人の意見や言葉をよく聞き、キーワードはメモをとるなどして、自分の語彙を増やそう。
- ・毎日の時間の使い方、学習計画の立て方、効果的な学習方法を模索し、自分なりのやり方を身につけていこう。友達とも、学習の工夫ややり方について情報交換して参考にするとよい。
- ・読書に取り組もう。他にも映画やアニメ鑑賞、歌詞のある音楽を聞く、観劇など、多種多様な豊かな言葉にたくさん触れ、心を豊かにしながら言葉の力を磨こう。
- ・漢字練習を習慣づけよう（都立高校入試の国語において、漢字は100点中20点と、配点が高い）。